

医療社会科学Ⅱ

教員名

教育研究開発センター 教養教育部門

講師 佐々木 洋子

I 一般学習目標

医学・医療を社会システム的な観点から捉え直す。医療およびその周辺にある社会的課題への理解を深めることで、医療現場を取り巻く社会環境の仕組みや特徴を把握することを目指す。また、社会現象を多様な視座から捉え、通念的な見方に対して批判的思考を働かせることで、様々な人々の社会的背景に配慮することのできる医師になるために必要な幅広い視野と見過ごされている問題への感受性を身につける。

II 個別学習目標

- ・現代社会を成り立たせている仕組み、特徴およびその変容を自分の言葉で説明できる。
- ・現代社会で「あたりまえ」とされていることをいったん「疑う」ことができる。
- ・こんにちの健康・病気・医療をめぐる言説のあり方を概観できる。
- ・医療現場の構造的規定要因について説明できる。
- ・医療化、製薬化などの概念を用いて現代医療について考察できる。
- ・医師による「意図せざる結果」が生起するメカニズムを理解できる。
- ・医療における社会運動の例を挙げることができる。
- ・「障害の社会モデル」の発想を理解し説明できる。
- ・社会の多様性に基づき対人援助職のコミュニケーションにおいて必要な配慮を説明できる。
- ・学習した諸概念を用いて医学・医療との関わりのもとで社会現象（社会問題）を考察できる。

III 教育内容

以下のように講義を進める。進度により内容が前後することがある。

1. イントロダクション
2. ジェンダーと医療
3. 映像から考える医療と社会 (1)
4. 家族と医療
5. 映像から考える医療と社会 (2)
6. 文化と医療
7. 映像から考える医療と社会 (3)
8. 健康への動機付け
9. 映像から考える医療と社会 (4)
10. 「障害」と社会
11. まとめ

IV 学習および教育方法

講義形式（ディスカッションを取り入れることもある）。映像資料を用いる。適宜、資料を配付する。

V 評価の方法

各講義内に筆記試験を行い、その合計により評価を行う。原則 60%以上の得点をもって合格とする。授業への積極的な参加は評価対象とし、適宜、加点する。その他、全学的基準を前提とする。

VI 推薦する参考書

講義中に随時紹介する。

講 義 日 程 表 (医療社会科学Ⅱ)

No.	月日	曜日	時限	項 目	担 当 科	担当
1	R4.4.8	(金)	1	イントロダクション	教育研究開発センター	佐々木
2	R4.4.15	(金)	1	ジェンダーと医療	教育研究開発センター	佐々木
3	R4.4.22	(金)	1	映像から考える医療と社会(1)	教育研究開発センター	佐々木
4	R4.5.6	(金)	1	家族と医療	教育研究開発センター	佐々木
5	R4.5.13	(金)	1	映像から考える医療と社会(2)	教育研究開発センター	佐々木
6	R4.5.20	(金)	1	文化と医療	教育研究開発センター	佐々木
7	R4.5.27	(金)	1	映像から考える医療と社会(3)	教育研究開発センター	佐々木
8	R4.6.3	(金)	1	健康への動機付け	教育研究開発センター	佐々木
9	R4.6.10	(金)	1	映像から考える医療と社会(4)	教育研究開発センター	佐々木
10	R4.6.17	(金)	1	「障害」と社会	教育研究開発センター	佐々木
11	R4.6.24	(金)	1	まとめ	教育研究開発センター	佐々木